

「求めなさい」

2015年08月05日

ルカによる福音書 11章5節～13節。また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』しかし、言うておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。また、卵を欲しがると、さそりを与える父親がいるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

主イエスは「主の祈り」を教えた後、「求めなさい」と繰り返し語られた。まず、譬えを語られた。真夜中に、旅行中の友達が訪ねて来た。食べ物を出したいと思ったが、何もなかった。近くの友人にパンを三個ばかり貸してほしいと求めた。友人は「面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません」と断った。しかし、彼は執拗に求め続けた。すると友人は、起きて来て必要なものを与えてくれた。

主イエスは、この譬えを語った後、「わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる」と続けられた。

人は「求める」という願望、希望を持つことによって、生かされていく。福音書には、主イエスの奇跡が多く記されている。その奇跡において、相手の求めを聞いているケースが少なくない。マルコ福音書 10章には、盲人バルティマイのいやしが書かれている。彼は通りかかった主イエスに大声で叫び続ける。呼ばれた彼に、主イエスは「何をしてほしいのか」と問われる。盲人の願いは分かっているはずであるが、主イエスは彼の願いを聞いている。心に深い求め、願望、希望を持つ者が、それを得るからである。

主イエスは更に、「あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。また、卵を欲しがると、さそりを与える父親がいるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる」と言われた。あなた方は悪い父親でありながらも、子どもには良いものを与える。まして、神は良いものをくださらないはずがない。マタイ福音書 6章32節bには「あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである」と書かれている。聖霊降臨日、ペトロは「若者は幻を見、老人は夢を見る」と語った。夢を追い得ない昨今、神の恵みと祝福を求め、互いの命を守り、平和を実現する夢を追い続けたいと思う。